

現代の名工

世界トップレベルの精密測定機器
【数値制御タレットパンチングプレス】



平成15年度の厚生労働大臣表彰「卓越した技能者」（現代の名工）に出来庭の川本忠夫さん（54歳）が選ばれ、11月20日（木）東京で表彰を受けました。

今回、県内では3人の方が受賞されました。

川本さんは、生れた時から聴覚障害をもっています。この「現代の名工」とは、ただ自分ひとりだけの技術ではなく、他の模範となり伝授していくことが強いられている賞です。この精密測定機器の技術を回りの人に伝えることは、とても大変な作業だったと思います。

川本さんは、「これからも諦めることをしないで、新しいものへと期待と希望をもつ

て、若い方に伝授していくことを大切にしていきたい。」と抱負を語ってくださいました。また、今月は成人式が行われるという事で、成人を迎える方に川本さんからメッセージをいただきました。「成人を迎える方も簡単に諦めることをしないで、努力と向上心をもって、自分に誇りを持てるように頑張ってください。」

現代の名工は技能者の地位や技能水準の向上を目的に優れた技能を有し他の模範となる人を厚生労働省が毎年約150人を表彰。

（企画課）

全国社会福祉協議会 会長表彰を受賞



台信幸子さん（貴船）は、25年を超える長い間の民生委員児童委員としての活動に、多大な功績があったと認められ、平成15年度（社福）全国社会福祉協議会会長表彰を受けられました。おめでとうございます。（福祉課）



総務大臣表彰受賞 （統計調査員）

平成15年度広島県統計功労者表彰

和田さんは、住民の皆さんの協力があつてこそその統計調査であるということ強く言われていました。これからも皆さんのお宅に統計調査員がお伺いすることがあるかと思いますが、調査に対するご理解、ご協力の程よろしく願います。また、統計調査員の仕事に興味のある方はお気軽に企画課まで、お問合せください。

（企画課 820-5602）

第21回ヒロシマ平和書道展 文部科学大臣奨励賞 （受賞作品「国際交流」）



平谷の石川美穂子さん（17歳）は、熊野町の筆を使用し、ヒロシマ平和書道展の最高の賞を受賞されました。とにかく『書く』ことが好きで、毎日、朝と夜の練習は欠かさず行っているそうです。将来の夢は、「小さな子どもからお年寄りまで、とにかくたくさんの人に書道が広められる人になりたい・・・」と目を輝かせて語ってくれました。夢を叶えるために今も、勉強に励んでいるそうです。（企画課）

「人権講演会」が開催されました
12月2日（火）に町民会館で、石井めぐみさんをお迎えして人権講演会が開催されました。

- 「日本は、先進国の中でもバリアフリーが、ハード面だけではなく心の面でも一番遅れている国である。」
- ・ 障害者の人がいて、あたりまえ。
- ・ 車イスの人がいて、あたりまえ。
- ・ いろんな立場の人が一緒に住んでいてあたりまえ。

お互い立場の違う人のことを思いやることで、やさしい街ができ、障害者の人がもっと戸外へ出かけることができるようにしてほしい。」と話されました。



石井めぐみさんに花束を手渡す、ハイシュリンガー・美亜沙・エリザベスさんとお母さんの美香さん。

問合せ先 住民課人権推進室
TEL 820-5604